



きよかわむら 社協だより

2017
8

No.192



緑中学校

福祉人権体験学習

7月11日、緑中学校で福祉人権体験学習が行われました。これは、同校の人権教育の一環として「高齢者や障害者の疑似体験を通して、それぞれの立場に立ったものの考え方や他者を思いやる心を育てる」ことを目的に、1年生は「視覚障害の疑似体験」、2年生は「車椅子体験」、3年生は「高齢者疑似体験」を毎年行っているものです。

高齢者疑似体験をした3年生からは、「腰がきつい」「視野が狭く足元を見るのが大変で階段がとて怖かった」「お年寄りの大変さがわかった。自分ができることがあれば手伝いたい」などの感想が聞かれました。

この体験学習を通じて、生徒の皆さんに相手の気持ちになって、どのようなことに困っているのかなど、気づいてもらうことができました。

8月号 おもな内容

- | | | | |
|-------------------|----|-------------------|----|
| ●特集 車いすテニス | 2P | ●宮ヶ瀬中学校道徳（福祉体験）事業 | 3P |
| ●宮ヶ瀬で認知症サポーター養成講座 | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |
| ●ほのぼのクラブ 夏の野外活動 | 3P | | |

特集 車いすテニス

昨年9月に行われたリオデジャネイロパラリンピックでは、22の競技に、130人余りの日本人選手が出場し、銀、銅合わせて24個のメダルを獲得するなど、その活躍は多くの国民に勇気と感動を与えてくれました。今月は、そのリオパラリンピックに車いすテニスの種目が出場した世界ランキング9位（平成29年6月30日現在）の眞田卓選手に、車いすテニスの魅力や2020年東京パラリンピックに向けての思いを伺いました。



🎙️ 数ある車いす競技の中で車いすテニスを始めたきっかけは何ですか。

眞田卓選手 19歳の時に交通事故で右膝関節から下を切断したのですが、入院先のリハビリ施設で車いすテニスをやっていた方と出会い、色々教えていただいたのがきっかけです。

🎙️ これまでにどのような大会に出場されましたか。

眞田 2012年のロンドンパラリンピック、2014年のアジアパラ競技大会、2016年のリオパラリンピックの他、世界ランキング8位までの選手が出場する世界マスターズに2014年、2015年に出場しています。アジアパラ競技大会では、個人で銀メダル、団体で金メダルを取ることができました。

🎙️ 印象に残っている大会はありますか。

眞田 1年間で世界ランキングを10位にまで上げ、初めて臨んだロンドンパラリンピックです。ケガをしてしまい毎日メディカルケアを受けながら試合をする日々が続きました。でも、この大会はメダルを取ることではなく、出場することを目標にしていたのでとても楽しかったです。

🎙️ 車いすテニスを始めてから辛かったことは何ですか。

眞田 何度もケガをしてしまったことですね。あと、結果が出なかった時。勝たないと努力が報われないというのは、対戦相手がいる競技ならではの、ないでしょうか。

🎙️ 車いすテニスの魅力を教えてください。

眞田 車いすテニスはツーバウンドまで許される以外、ルールは全て普通のテニスと一緒です。車いすでなくても、健常者と一緒にプレーできるのは楽しいです。そして、見ている人にとっては車いす操作の技術。車いすテニスはサイドステップやジャンプができないので、その代わりに沢山ターンをしたり、ダッシュをします。ボールの動きを読んで動き回るのは非常に魅力がありますね。

🎙️ 最後に、2020年東京パラリンピックに向けて村民の方へメッセージをお願いします。

眞田 パラリンピックは、テレビの放送ではやっていなかったり、やっていたとしても会場の雰囲気はわかりにくいところがあります。ロンドン、リオと経験してきた中で、大会の雰囲気は誰が来ても楽しめるものなので、是非会場に足を運んでもらいたいと思います。



お知らせ

8月9日（水）から12日（土）まで南毛利スポーツセンター、荻野運動公園で『第34回日本車いすテニス選手権大会』が開催されます。近くの会場ですので、興味・関心のある方は会場まで足を運んでみて下さい。なお、大会の詳細は <http://kngwta.com/> または清川村社協（☎287-1118）まで

認知症の方への接し方を学びました

〜宮ヶ瀬でサポーター養成講座〜

認知症への理解を深めるための「認知症サポーター養成講座」が7月12日、宮ヶ瀬住民センターで行われました。村協の主催で宮ヶ瀬地区では初めて。講座には5人の住民が参加しました。当日は、認知症への理解を深めるための啓発を推進しているキャラバンメイトの小島祐行氏（社協事務局長）を講師に、認知症の方へ接する際に大切な「自尊心を傷つけない」などの「4つの『ない』」や「後ろから声をかけない」「相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと対応する」といった「7つのポイント」などを学びました。参加者からは「認知症にならないためにはどうしたらよいか」などといった質問があたり、小島氏は「生活習慣病を防ぐための運動や、外部とのつながりを維持するために、趣味活動や地域サロンなどに定期的に参加しておくことが良い」と回答していました。



みんなでお出かけ、リフレッシュ!

〜ほのぼのクラブ 夏の野外活動〜

ほのぼのクラブ（通所型サービス事業）が4月から開所し、7月で4ヶ月目となりました。月曜日から木曜日の午前10時から午後3時まで、場所は、保健福祉センターやまびこ館の機能訓練室で実施し、体操、レクリエーション、手芸、おしゃべりなどを楽しんでいます。

7月19、20、24日の3日間は、心身機能の維持向上を目的に、夏の野外活動として、3地区ごとのお買い物を企画しました。厚木市内のスーパーや100円ショップ、パン屋を回り、思い思いの買い物が出来たこともあり、利用者は「みんなと買い物すると楽しい」「買い物をしていると、いつの間にかたくさん歩いちゃうね。階段も使っている運動になった」「ひ孫にお土産が買えたよ」と満足されていました。



今後利用者の方の意見を聴きながら、皆さんが楽しみながら介護予防が出来るプログラム作りを行っていきたいと思います。

体験してみてわかったこと

〜宮ヶ瀬中学校道徳（福祉体験）授業〜

車椅子を使用して生活している方について学び・考えることを目的に6月22日、宮ヶ瀬中学校で「ゲストティーチャー道徳（福祉体験）授業」が行われました。



講師の村協職員から車椅子で生活している方についての話や車椅子の操作方法について説明を受けた後、校外に出て通路を車椅子に乗り移動しました。砂利道では「思っている以上に進まない」、平らに見える道路でも「なかなか真っすぐに進まない」と、普段歩き慣れている道路に四苦八苦していました。学校に戻ってからのまとめで「車椅子での生活で何か不便だと思われることは」という問いに生徒は、「物を落としたり時に拾いにくい」「簡単に動けない」など、実際に車椅子に乗ってみて改めて気づいたことがあったようでした。

かながわパラスポーツフェスタ2017

すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支える、「かながわパラスポーツ」を推進するため、「かながわパラスポーツフェスタ 2017」を開催します。パラリンピアン等を招いての講演やトークショー、パラリンピック競技の体験のほか、ダンス発表や「3033 運動」「ラグビーワールドカップ 2019TM」のイベントなど、盛りだくさんのプログラムを用意しています。ぜひ、ご家族やお友達とご一緒にお越しください！（参加費無料、事前申込み不要）

日時 平成29年8月26日（土）午後1時～午後4時30分（午後12時30分からオープニングイベントあり）

場所 相模原市立総合体育館

内容 ●講演会「一緒にできる」 講師：中澤吉裕氏（車いすテニス監督）

●トークショー

パラスポーツとの出会い、ともに楽しむことの素晴らしさをお話しします。

ゲスト 中澤吉裕氏（車いすテニス監督）、三宅克己氏（車椅子バスケットボール）、青山由佳氏（ガイドランナー）、二条実穂選手（車いすテニス）

●パラスポーツ体験

車いすテニス・車椅子バスケットボール・盲人マラソン

●体験コーナー

ブラインドサッカー・競技用義足体験・ニュースポーツ ファミリーバドミントン・フロアホッケー

ご注意 フロア内は土足での入場はできません。必ず室内シューズまたはスリッパをご持参ください。

その他 詳しく内容が記載されている「第1回かながわパラスポーツフェスタ2017」のチラシを清川村社協ホームページにも掲載しておりますのでご覧下さい。

清川村社協ホームページ URL <http://www.kiyokawa-shakyo.jp>

お問い合わせ先

神奈川県 スポーツ局 スポーツ課 障害者スポーツグループ

☎045-285-0798

回収にご協力ありがとうございます

平成29年6月～平成29年7月

○ペットボトルキャップ 4件
○古切手 3件

ペットボトルキャップ収集についてのお願い

キャップを集める際には軽く水で洗っていただくと臭いやカビを防ぐ事ができますのでご協力お願いいたします。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

を期待したいです。

関心を持ってください、の意味や役割に関して、していただき、福祉活動で得た気づきを大切にすることができました。この体験で得た気づきを大切にしたいです。

ななつしおーび

ななつしおーび

今月号では、緑中学校

と宮ヶ瀬中学校の福祉体

験の様子をお伝えしまし

た。両校の生徒のみなさ

んは、身近な地域に様々

な方がいることを知るこ

とができます。この体

験で得た気づきを大切に

していただき、福祉活動

の意味や役割に関して、

関心を持ってください、

を期待したいです。